八尾市環境の美化に関する条例

平成 8 年 3 月 29 日

条例第17号

(目的)

第 1 条 この条例は、八尾市民の環境を守る基本条例（平成 8 年八尾市条例第 16 号）第 14 条の規定に基づき、市が、市民、事業者及び関係行政機関等と一体となって、ごみの散乱の防止及び屋外広告物（屋外広告物法（昭和 24 年法律第 189 号）第 2 条第 1 項に規定するものをいう。以下同じ。）の掲出又は表示の適正化等を図ることにより、快適で美しいまちづくりを促進し、もって良好な都市環境の増進に資することを目的とする。

(市の責務)

第 2 条 市は、この条例の目的を達成するため、ごみの散乱の防止等環境の美化に関して必要な施策（以下「施策」という。）を策定し、及びこれを実施する責務を有する。

(市民等の責務)

第 3 条 市民等（市民以外であって、市内に在る者を含む。以下同じ。）は、ごみの散乱の防止等環境の美化の促進に自ら努めるとともに、市の施策に協力する責務を有する。

(事業者の責務)

第 4 条 事業者は、ごみの散乱の防止及び屋外公告物の掲出又は表示の適正化等環境の美化の促進に努めるとともに、市の施策に協力する責務を有する。

2 事業者は、自らの事業活動による製品又は商品に係るごみの散乱を防止するため、市民等への啓発に努める責務を有する。

(土地又は建物の占有者等の責務)

第 5 条 土地（池、沼等を含む。以下同じ。）又は建物の占有者若しくは所有者又は管理者は、当該土地、建物及びその周辺を常に美しく保つよう努めるとともに、市の施策に協力する責務を有する。

(ごみの散乱の防止)

第 6 条 市民等は、たばこの吸い殻、空き缶及び紙くず等のごみを道路、公園、広場、河川その他の公共の場所（以下「公共の場所」という。）にみだりに

捨ててはならない。

2 自動販売機により飲食物を販売する事業者（以下「自動販売業者」という。）は、当該自動販売機により販売された飲食物を収納していた容器が、公共の場所にみだりに捨てられることを防止するため、当該自動販売機の周辺に空き缶、空き瓶等の回収容器を設置するとともに、当該回収容器を常に適正に管理しなければならない。

（屋外広告物の適正化）

第7条 市長は、屋外広告物がみだりに掲出又は表示されないようにするため、必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（美化重点地域の指定）

第8条 市長は、環境の美化を特に促進する必要があると認める地域を美化重点地域として指定し、ごみの散乱の防止及び屋外広告物の掲出又は表示の適正化等に関する施策を重点的に実施するものとする。

（環境美化推進組織の整備）

第9条 市長は、この条例の円滑な運用及び実効性を確保するとともに、市民の参画による環境の美化の促進を図るため、市民、事業者及び関係行政機関等の代表者で構成される環境美化推進組織の整備に努めるものとする。

（表彰制度）

第10条 市長は、長年にわたり、地域の環境の美化に寄与していると認める個人又は団体を表彰することができる。

（助成制度）

第11条 市長は、地域の環境の美化に取り組んでいる団体に対し、助成を行うことができる。

（指導及び勧告）

第12条 市長は、環境の美化を阻害していると認められる者に対し、この条例の目的を達成するため、必要な措置を講ずるよう指導することができる。

2 市長は、第6条第1項の規定に違反し、公共の場所における環境の美化を著しく阻害していると認められる者又は同条第2項の規定に違反していると認められる自動販売業者その他環境の美化を著しく阻害していると認められる者に対し、この条例の目的を達成するために必要な限度において、期限を

定めて、必要な措置を講ずるよう勧告することができる。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成8年6月1日から施行する。